

タイにおける医療廃棄物の適正処理に 群馬県の企業が寄与します

～株式会社キンセイ産業、JICA 普及・実証事業を開始～

株式会社キンセイ産業（群馬県高崎市）は、2015年度のJICA中小企業海外展開支援事業において、タイ国を対象とした「次世代焼却炉による医療廃棄物適正処理 普及・実証事業」で応募・採択され、この度JICAとの間で業務委託契約を締結し正式に事業開始の運びとなりました。

近年タイでは急速な経済成長により、一般・産業・医療廃棄物が増加傾向にあり、その適正な処理が求められています。特に医療廃棄物は感染性の有害物質を含むため、その適正な処理が急務となっていますが、毎年約1,000 tペースで増えている一方で、既存の医療廃棄物焼却炉の運用・維持管理には高度な技術が求められ、かつ運用・維持管理費も高いことが課題となっています。加えてこれら既存の医療廃棄物焼却炉は、煤塵のみならず不完全な焼却でダイオキシンを発生させるなどの問題を引き起こしています。

既に同社では2014年度にタイを対象国とした「次世代焼却炉による医療廃棄物適正処理案件化調査」に採択され調査を実施しました。同社の乾溜ガス化焼却装置はダイオキシン等排ガス規制を十分に満たす一方で、シンプルな機能で操作性が高く維持管理に係る特段の技術も必要とせず、かつ補助燃料が少なく済み、運用・維持管理の費用も安いことから、技術者・維持管理費用の不足が常態化した同国における優位性が示されました。

今回実施される本事業では、乾溜ガス化焼却装置の特長である上述の簡便性、経済性、環境性能（環境・人体汚染の緩和）等を、タイ国第2の都市であるチェンマイ市のチェンマイ大学医学部付属病院の敷地内に設置・稼働させることを通じて実証し、普及の方策を検討する予定です。



タイ側関係者向け研修風景



乾溜ガス化焼却装置

※「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」は、我が国の中小企業などの製品・技術が途上国の開発に有効であることを実証するとともに、現地での適合性を高め、普及を図ることを目的とするものです。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京 市民参加協力第一課 稲澤 定
TEL : 03-3485-7680 E-mail : Inasawa.Sadaka@jica.go.jp